

項目	中・長期経営目標	短期経営目標	主な取組内容	取組内容の評価指標	自己評価		学校関係者評価					
					達成状況	評価	改善案	評価書				
確かな学力	<p>○向上心を持って学習に取り組むことができる生徒の育成</p> <p>○全国水準の学力の育成</p> <p>※全国学力調査、高知県学力定着状況調査、標準学力検査の平均+5ポイント</p>	<p>・学力向上にチーム学校として取り組む組織の構築</p> <p>・「分かる」授業づくりを通して、基礎・基本の確実な定着や学習意欲の向上、望ましい学習習慣の確立を図る。</p> <p>・補充的学習や予習・復習の課題提示、自主学習の奨励により、家庭学習の習慣化など望ましい学習環境の整備を行う。</p>	<p>・研究推進委員会の企画・運営</p> <p>・部会等の機能的な運営</p> <p>・指定事業に関連した公開授業の実施</p> <p>・研究主題に沿った講師招聘研修の企画・実施</p>	<p>①学校評価アンケート(保護者)肯定群 ア学校生活の満足度…85% (H27年度80.9%) イ授業の理解度…80%(H27年度72%)</p> <p>②研究委員会の実施(月1回)</p> <p>③講師招聘研修の実施(各部会1回)</p>	<p>①学校評価アンケート(保護者)肯定群 ア学校生活の満足度…90% イ授業の理解度…80% ②研究委員会の実施…毎月1回の実施はできなかったが、その都度研究協議を行った。 ③講師招聘研修の実施…7月4日「組織で取り組む効果のある『学校づくり』久我直人先生、8月19日「児童虐待の背景について」伊藤健志先生 ④授業アンケート(自分の考えを発表する機会98.4%)、話し合う活動を行う(95.1%) 室戸中授業スタンダードを実践し、各授業ではほぼ授業の目標やねらいの提示ができていた。授業公開により互いの授業から学ぶ雰囲気が出てきた。また、授業の三か条の取組では、チャイム席、忘れ物点検を生徒会でも取組んでおり意識が向上している「壁に文字を重視して授業実践を進めている」</p>	C	<p>保護者による学校評価アンケートでは、ア、イ共に目標を達成することができた。公開授業を核とした、授業研究と授業改善を継続して取り組んでいく。また、研究委員を位置づけて月1回の実施をしていく。各部会からの課題解決に向かう、講師招聘計画を年度当初に行う。</p>	<p>保護者による学校評価アンケートの満足度もほぼ満足している状態にある。更に上を目指してほしい。研究主任を中心に、学力向上のための組織的な校内研修体制での取り組みができており、徐々に成果を上げてきている。学校の生活、授業の理解度、共に高く評価できる。教科会の実施など、指定校としての役割があり大変ですが、子どもの様子を見た保護者から、8~9割の肯定的評価が得られているのは素晴らしい。</p>				
									<p>子どもにわかる授業づくり</p>	<p>①毎時間のねらい提示100%</p> <p>②授業アンケート(自分の考えを発表する機会90%以上、話し合う活動を行う90%以上)</p>	<p>授業スタンダードの実践を継続して取組んでいく。授業アンケートから「考えを発表する機会」と「話し合う活動」は目標を達成することができた。さらに、生徒主体の授業になるような教材や発問の精選、相手に分かるように話したり、聴いたりできるように活動を行っている。</p>	<p>授業の三か条の取組は、生徒会が自主的に取り組む様子は学校生活も充実している。授業スタンダードを意識した授業展開が根付いてきている。学び合い、深い学びという面では更に研究が求められる。授業スタンダード、問題解決型授業は、一人ひとりの理解力を高めていくことで継続して欲しい。どの教科においても授業スタンダードが定着するように、更なる取組を期待する。</p>
									<p>予習・復習の質と量を高める取組</p>	<p>①家庭学習1時間以上の達成率58.8%</p> <p>②学習シートの活用率100%</p> <p>③家庭学習の手引きを夏休み作成し、2学期から活用を進めた。</p>	<p>家庭学習1時間以上の割合は向上の傾向にあるが、目標値にはまだ大きな隔りがある。各教科での課題を実施しているが、さらに全教科で取り組む課題を行うことで、基礎学力の定着を図ってきたい。</p>	<p>家庭学習の達成率は低い。ほぼ評価できる。全体的に、中学生としては学習時間が少ない。家庭学習の手引きの活用など、工夫、改善が必要である。基礎学力向上のため、予習復習のための課題(手引き)など、教科別で良かった。家庭学習の量の調整を、日単位より週単位・月単位で行うことにより、子どものセルフマネジメント以前は、自転車のマナーが悪いとよく聞かれたが、最近は耳にしない点は街頭指導も良くできている。参観日の出席は少ないが、取り組みの方向は間違っていない。これから続けていくことが大事。道徳参観日の時だけでなく、普段の道徳の授業についての情報も学級通信等で発信することを目指す。</p>
豊かな心	<p>○「どのように社会・世界と関わり、より良い人生を送るか」と考える事のできる、人間性や学びに向かう力がついでる生徒の育成</p>	<p>・基本的な生活習慣を身につけ、心身の健康の増進を図る</p> <p>・自分を大切に、他人を大切にしている態度、習慣の育成に努める</p> <p>・生命の尊さを理解し、豊かな心を育てる</p> <p>・集団の一員としての自覚をもたせ、自己の役割を認識する力と責任感を育てる</p>	<p>・道徳参観日の実施と保護者への啓発(学級通信等)</p> <p>・道徳アンケート実施・分析・検証</p> <p>・学級での話し合い活動の充実</p> <p>・街頭指導及び挨拶運動の実施</p>	<p>①道徳参観日への保護者出席率50%</p> <p>②学級通信による道徳の話題提供、各学級学期に1回以上</p>	<p>①道徳参観日については平日開催を避け、学年PTA行事と重ねるなどとして少しでも保護者の参観率を高める設定をしたが、目標値の達成はできなかった。②学級通信による道徳の話題提供については、3年生の学年通信などに話題が掲載され、昨年より進歩が見られた。</p>	C	<p>道徳参観日の出席については達成可能な目標値の見直しと、少しでも増やす呼びかけを行っていく。通信の話題提供の機会を増やすために、学級通信の発行回数を増やすことも来年度に改善できる部分である。</p>					
								<p>「読・夢プロ」の推進</p>	<p>①夢プロアンケート肯定群 ア、自分もやればできるという気持ちがある90% イ、わたしは一人の大切な人間である80% ウ、学校が楽しい90% エお互いの良いところを認め合う事ができる90%</p>	<p>引き続き、個人面談やボイスシャワーの実施と、エの項目の低下については、学級集団づくりの機会が昨年と比べて減ってきたと思うので、集団づくりの内容工夫や時間確保の計画づくりを行う。</p>	<p>夢プロはとてとても良いと思う。推進してほしい。肯定的意見が、全員から得られるよう、アンケートの内容も考えて欲しい。夢プロの取り組みによって、生徒一人ひとりの自尊心は高まり、全校集団も変容してきた。工夫しながら、是非継続していただきたい。学校という集団生活の中では、やればできる、一人の大切な人間とか高い評価獲得の習慣なども見られるようになってきた。</p>	
								<p>読書活動の推進</p>	<p>①朝読書アンケートでの肯定群 ア落ち着いて取り組めた…92.1% イ本を読むことが好き…78.8%</p> <p>②図書便りの発行…毎月1回の発行はできていない。2回発行</p> <p>③図書資料を活用した授業…1年生:「故事成語」、2年生「福のたしなみ」「福のたしなみ」「福のたしなみ」</p>	<p>ブックワークや教員の読書体験を語ることを通じて、「本を読むことが好き」といえる生徒を増やしていきたい。図書だより発行は活用が活かされたので、計画的に発行していく。図書資料を活用した授業づくりは市民図書館と連携しながら、さらに進めていく。</p>	<p>本を読むことが好きとの評価が上なのはとても良い。最近では本を開かない子どもが増えているので、この取組は良い。校外授業として、図書館で授業を行ってみたい。図書資料を活用した授業づくりは市民図書館と連携しながら、さらに進めていく。</p>	
<p>特別支援教育の推進</p>	<p>①特支不登校部会を月2回実施</p> <p>②支援シートをもとに、保護者と共通認識を持つ場を設定(学期に1回)</p> <p>③三機能の視点を生かした授業実践90%以上</p>	<p>特支不登校部会の定期開催を年間計画に位置づける。個別の支援シートを職員会議資料として必須の物とし、保護者に説明しながら行う場を設定する必要がある。三機能の定着を検証できる授業評価の工夫を図る。</p>	<p>保護者や外部とも良く連携できている。部会は定期的に行われ、情報共有、取組の確認がなされている。発達障害の生徒が増加している。特別支援の視点に立ち、授業づくりがより一層要求される。不登校特別部会13回実施を踏まえ、来年度も個別の指導計画を作成し続けて欲しい。</p>									
健康な心と命	<p>○たくましく生きるための健康や体力を備えた生徒の育成</p> <p>・自分の体を知り、体力や運動能力の向上、生活習慣の定着に取り組む</p> <p>・将来に向けて健康管理や危機対応のできる能力の育成</p>	<p>・授業や体育の行事、日常の遊び等を通して、積極的に運動に親しむ態度や運動能力の向上を図る。</p> <p>・生徒一人一人が健康や安全に関心をもち、望ましい生活習慣の確立や体づくり、安全管理につながるような指導に取り組む。</p>	<p>・体育の授業研の実施</p> <p>・筋力・持久力を高めるため始業時のランニングや馬跳びを継続実施</p>	<p>○28年度全国体力・運動能力・運動習慣等調査結果 (2年生体力)の向上 イ男子・全国平均 イ女子・全国平均</p>	<p>男女とも握力は全国平均を上回っていたが、それ以外は下回る結果となった。各種目の平均の数値の差を見ることができている。ただ、男女とも上り体起こしの差が大きい。体育の授業は楽しいと思う肯定的な回答は、男子92%、女子85%だった。男子は昼休み、大部分の生徒が外で元気に走りまわっている。反面女子は、運動部活動への参加率が40% イ女子…全国平均</p>	C	<p>グラウンドでの授業時には600m走り、体育館ではリズムジャンプを取り入れ運動量の確保に努め、運動能力や体力の向上に繋げる。</p>					
								<p>健康教育の推進</p>	<p>①生活リズム調査結果 ア11時までの就寝…70% イ7時までの起床…85% ウ朝食の摂取率…90% エ毎日の排便…70%</p> <p>②保健便りの発行(月1回)</p>	<p>生活リズム調査の継続 ア11時までの就寝…70% イ7時までの起床…85% ウ朝食の摂取率…90% エ毎日の排便…70% ②保健便りの発行(月1回) ③保健委員会が集まる生徒自身が生活リズムについて発表し、意識づけを行う。</p>	<p>生活リズムはできていない。受検、部活、塾等があり、中学生は多忙で生活リズムも乱れがちになる。生活を見直し、改善するためにも、定期的な生活リズム調査は必要である。生活リズム調査結果を見ると、本校は、生活面では前年より良くなっている。中学生の朝食摂取率は、意外と高く良い傾向である。</p>	
								<p>防災・安全教育</p>	<p>①避難訓練を年間3回以上実施</p> <p>②防災学習を学期に1回以上実施</p> <p>③防災学習に対する重要性等の肯定群100%</p> <p>④防災学習に対する学校評価アンケート肯定群80%以上</p>	<p>津波避難訓練は3回(5月・7月・11月)実施。 ②地震津波講話・起震車体験・理科(メカニズム等)保健(釜石に学ぶ)家庭科(家庭での防災)体育(救急法)等を実施 ③学習後のアンケート項目設定ができておらず未検証</p>	<p>防災学習と避難訓練の継続実施。 マンネリ化しないための情報収集を市の防災課等から行う。学校便りに、子どもと考える防災についての記事を載せる。防災学習アンケートの項目検討と実施の定着</p>	<p>防災意識が高く、避難訓練も実施されているが、もっと地域の方巻き込んで訓練してほしい。年間の授業日数、学校に在る時間から考えて、地震が起きたときに学校に在る確立は三分の一以下。学校での防災教育を通じて、学校外での災害への対応も育てたい。防災学習、避難訓練などの取組実施は良くできている。しかし、避難場所の備蓄など(水・食料)は、何も未だに準備が進んでいない。</p>
保護者・地域との連携	<p>・保護者や地域の方々の学校教育への理解、協力を求めるための開かれた学校づくりを推進する。</p> <p>・学校支援地域本部事業の導入を推進することにより、保護者や地域の方々を持つ教育資源を積極的に活用させていただく。</p>	<p>・保護者や地域との連携を深め、教育活動についての意見や要望を学校経営に反映させるなど、相互の信頼関係に基づく学校づくりを推進する。</p> <p>・関係者、関係機関との連携を図り、教育の充実や学習環境の整備、ネットワークの構築に取り組む。</p> <p>・便りやホームページ等を活用し、学校や子どもたちの様子等を伝える。</p>	<p>①学校評価アンケートによるア学校満足85%以上 イ学校は情報提供を積極的に行っている70%以上</p> <p>②学校ホームページの抜本的な改訂による、適宜の情報発信</p> <p>③学校支援地域本部の設置検討</p>	<p>①7保護者質問25項目の肯定的評価 83.1%</p> <p>イ学校は、学校の情報を、懇談や学校便り等で保護者に知らせよう努めていると思います。肯定的評価87.8%</p> <p>②H28年8月31日にリニューアルした。技術的な問題により、学校便り等のアップの遅れと、内容充実が課題である。</p> <p>③教育委員会との検討段階であり、具体的な計画の進捗はできていない。</p> <p>評価指標は概ね達成していると言えるが、保護者アンケートの回収率(66%)から見ると、学校評価に対する保護者の関心も低く、より高い関心を示す必要がある。</p>	C	<p>最近、学校が落ち着いていると聞く。学校の全ての取組に保護者も満足度は高いと思う。地域の学校という意識は、保護者・地域とも薄い。色々な行事への参加の呼びかけをする事も大事。</p> <p>参観日や学校行事の案内は、学校・学級・HP等様々な方法で複数回行うことが必要である。校区が広くなり、大変な面もあるが、情報発信と家庭訪問をきめ細かく行うなど、保護者・地域とのつながりを大切にしていきたい。</p> <p>学校便りなど、保護者に届いていない。HPを月1回更新する。入学など新年度にHPのことを保護者に知らせる。学校行事を、ポスターなどを作り地域の方々にも知ってもらいたい。参観日の保護者の出席率を上げる(参加の呼びかけをする)小学校の参観週間と中学校の参観週間を合わせてみる。(兄弟のいる保護者が参加しやすい)</p>						